

〔研究ノート〕

法学部における アクティブ・ラーニング実践例の紹介

清水 正 博

1. はじめに
2. 法学部版「聖地巡礼」プロジェクトとは
3. 宇奈月温泉事件「聖地巡礼」の実践方法
 - (1) 事前準備
 - (2) 現地訪問
 - (3) 事後学習
4. 実践の効果と課題

1. はじめに

平成24年8月28日に中央教育審議会により出された答申である、『新たな未来を築くための大学教育の質的転換に向けて～生涯学び続け、主体的に考える力を育成する大学へ～』（以下、答申とする）の中で、「従来のような知識の伝達・注入を中心とした授業から、教員と学生が意思疎通を図りつつ、一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与えながら知的に成長する場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修（アクティブ・ラーニング）への転換が必要である」とし、現状、大学教育の質的転換が強く求められているといえる。

具体的な能動的学習（アクティブ・ラーニング）とは、答申の用語集の中で、「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的

な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。学修者が能動的に学修することによって、認知的、倫理的、社会的能力、教養、知識、経験を含めた汎用的能力の育成を図る。発見学習、問題解決学習、体験学習、調査学習等が含まれるが、教室内でのグループ・ディスカッション、ディベート、グループ・ワーク等も有効なアクティブ・ラーニングの方法である」と説明されている。

そのため、能動的学習、アクティブ・ラーニングの実践に関しては、大学ごと、教員ごとに教授・学習法を創意工夫することが求められているといえる。

手始めに、筆者は「AR（拡張現実）を用いた講義プリントの活用」と題し、講義プリントの画像にスマートフォンやタブレットをかざすと文字や画像、動画等が表示できるようにし、受講学生の講義内での集中力の向上、講義外での事前・事後学修に資するシステム作りについての発表を行わせていただいたが、法学専門分野に特化したアクティブ・ラーニングではなかった。

そこで、今回は法学専門分野に特化したアクティブ・ラーニングの実践例として、法学部版「聖地巡礼」プロジェクトについて紹介したい。

2. 法学部版「聖地巡礼」プロジェクトとは

法学部版「聖地巡礼」プロジェクトとは、近年、アニメや映画のモチーフとなった場所をめぐる『聖地巡礼』が流行っていることに着目し、法学部生であれば誰でも知っている有名判例や事件の現場を訪れ、その背景に想いを馳せるとともに、新たな観光資源の発掘、ツアー企画なども行い、学生の主体的、能動的な学びに結び付けようとするものである。さらに、この取り組みを通じて、地域活性化を図る目的もある。

筆者の担当する演習科目（ゼミ）の受講学生を対象に昨年度から取り組んでいる。

2017年2月に第1回として、富山県の宇奈月温泉事件を取り上げ、同年9月に第2回として奈良県のため池条例事件を取り上げ、現地合宿等を行ってきた。12月には、山梨県での信玄公旗掛松事件を取り上げ、現地へ訪れた。

3. 宇奈月温泉事件「聖地巡礼」の実践方法

(1) 事前準備

受講学生には判決文を熟読させ、事案の概要と要旨をそれぞれまとめさせておく。その際、事件の現場、所在地を現在の地図上に表示させるとともに、事案の中で出てくる金銭などが、現在どのくらいの価値になるかなどを調べさせる。

その後、権利濫用について、濫用の語について、「乱用」と使い分けているのは何故かについてなど、「権利は一度使うと消えてしまうものなのか」などの発問を通じながら、理解させていく。

これに加えて、富山県の宇奈月温泉付近の観光資源について調査させる。

(2) 現地訪問

現地の訪問に際しては、その地域の方の判例、事件の認知度について、インタビューなどの方法で受講学生に調査させ、事後学習での検討データとする。

あわせて、事前準備において調査した観光資源に直に触れながら、地域活性化のアイデアについて議論させる。

(3) 事後学習

現地での地域の方の判例、事件の認知度をもとに、どのように法学部版「聖地巡礼」の魅力をアピールできるか、PR方法、情報発信方法などに



(図1) 宇奈月温泉駅での温泉噴水



(図2) 宇奈月温泉事件当時の引湯管



(図3) 参加した受講学生

ついて、意見を発表させる。

また、関連する判例を調査させ、「聖地巡礼」の舞台となりえるかの検討を行わせるとともに、関連する法知識の修得をさせる。

4. 実践の効果と課題

受講学生の感想からは、判例の現場へ実際に訪れることは新鮮であり、判例それ自体だけでなく、背景となる法知識についても強い興味、関心をもって学ぶことができると、概ね好評であった。

